

平成28年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 平成28年4月19日（火）

2 調査対象 第6学年児童46名

3 調査内容

（1）教科に関する調査（国語A、国語B、算数A、算数B）

Aは主として「知識」に関する問題、Bは主として「活用（知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力）」に関する問題です。

（2）生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

4 調査結果

（1）教科に関する調査

国語A（主として知識に関する問題）は、全国平均正答率を上回りました。また、国語B（主として活用に関する問題）は、おおむね全国平均と同程度でした。

算数A（主として知識に関する問題）、算数B（主として活用に関する問題）は、ともにおおむね全国平均と同程度でした。

（2）質問紙問題調査

① 成果が見られた項目

ア 家で学校の授業の復習をしていますか。

イ 家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか。

② 課題が見られた項目

ア 今住んでいる地域の行事に参加していますか。

イ 新聞を読んでいますか。

5 学力向上の取り組み

今回の調査結果を踏まえて、本校では今後、次の点について重点的に取り組んでいきます。

○ 学習課題に対して自ら考え、自ら進んで話し合いなどに取り組めるような児童の育成

○ 学習のねらいやまとめを明確に押さえた授業の展開

6 保護者・地域の皆様へ

児童の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

（1）家庭学習について

○ 家庭での望ましい学習習慣の確立と時間の確保

（2）読書について

○ 家庭で読書をしようとする環境づくりや声かけ

（3）地域行事等への参加

○ 学校外での多くの人々とのあいさつやふれあい